

## 名寄でパネル展開催

「森とイエ」プロジェクトをPR



ワークショップにも多くの人に参加した

【旭川】下川町の木材を活用した家造りを通して地域の活性化を進める「森とイエ」プロジェクトは11月22―24日の3日間、多くの人にプロジェクトを知ってもらおうと、名寄市の駅前交流プラザ「よろーな」で、森とイエの家と暮らし展を開いた。町内外から多くの人が訪れ、パネルや模型に見入っていた。

このプロジェクトは、デザインや住まい方の提案力に優れる建築家に設計を任せ、柱や梁など構造材全てを地元木材で賄いながら、技術力に自信

のある地場工務店が施工することで地域の活性化を狙うもの。デザイン性を加味した北方型住宅

を実現することができる。

現在、工務店が下川町の丸昭高橋工務店、山形建設、名寄市の大野土建、建築家はSa de

sign officeの小倉寛征代表のほか、アトリEmomoの桜井百子主宰、照井康穂建築設計の照井康穂社長、エヌディースタジオの中館誠治社長が参加している。

イベントでは、プロジェクトの取り組みや参加者、これまでに完成した5棟の住宅を紹介するパネル約40枚を展示。カード作りワークショップも開催し、参加者は雪の結晶やツリー、教会をモチーフにしたカードを、プロジェクトメンバーからの指導を受けながら作った。

住宅づくりに関心のある人の相談にも応じるなど、イベントは盛況だった。

アトリEmomoの桜井主宰は「縁があつてプロジェクトに参加することができたので、プロジェクトに賛同する人と一緒に、環境にやさしい家づくりをしたい」、Sa design officeの小倉代表は「広いエリアに情報発信していきたい」とそれぞれ話していた。